

## ミャンマーの貿易為替制度-WTO・他協定加盟状況

ミャンマーは、東南アジア諸国連合(Association of South-East Asian Nations: ASEAN)域内の市場統合を目指し、ASEAN後発加盟国であるベトナム、ラオス、カンボジアと共に2015年にASEAN共同体に組み込まれる予定である。これにより、域内人口約19億人という巨大な自由貿易圏が誕生することが予測されている。2015年までに、これら後発加盟国についても関税率を0～5%まで引き下げることで現在最終調整中である。

なお、世界貿易機関（World Trade Organization : WTO）、ASEAN、ベンガル湾多分野技術・経済協力イニシアチブ(Bay of Bengal Initiative for Multi-Sectoral Technical and Economic Cooperation: BIMSTEC) の加盟状況は以下の通り：

- A. WTO : 1995 年 1 月 1 日加盟（但し、GATT 加盟は1948 年 7 月 29 日）
- B. ASEAN : 1997 年 7 月加盟
- C. BIMSTEC : 1997 年 12 月加盟